

地域医療支援センターだより

ごあいさつ

地域医療支援センター長
橋本正明

本年度より始動した当院「地域医療支援センター」も現在、本格的に目標を定めて動き出しております。当院の前方連携、後方連携、そして側方連携が有効に関連しながら患者さんの入り口から出口そしてアフターまで含めたスムーズなサービス提供が行えるよう順次実行中です。今後とも皆様のご協力の程宜しくお願い致します。

NEWS

平成23年 9月より

『もの忘れ外来』

ご紹介予約診療始めました

地域の医療機関様よりご要望が多かった「もの忘れ外来」の予約診療を開始いたしました。この外来診療は検査中心とする診療の日とその検査にもとづく診断についてお答えする診療の日と合計2回の受診をしていただきます。血液検査、画像検査、心理検査など15項目を標準に検査いたします。精神科、神経内科、脳神経外科の医師6名が輪番で担当いたします。「もの忘れ外来」開設により早期の受診・診断の機会が得られ、早期の治療や地域支援が開始されることを願っております。詳しい内容については地域医療支援センターまでお問い合わせください。

予約制

第1日目
検査診療
(ご希望調整日)第2日目
診断結果
(第2・4月曜日午後)ご予約に関する
お問合せ先
地域医療支援センター
電話0767-52-8718

※それぞれの診療日を調整いたします。

特集

(第2回)

係の
ご紹介



医療福祉相談係

医療福祉相談係では4名のソーシャルワーカーが、患者様やその家族からの相談に応じています。病気に伴って生じる経済的問題や介護に関する不安、潜在していた家族関係の問題など、実に様々な相談対応が求められ、少しでも解決のお手伝いできればと日々奮闘する毎日です。

ご存知の方も多いかと思いますが、私達4名はとにかくよくしゃべります。仕事柄、少しの情報からたくさんのことを想像(妄想?)するので、それがどこまでも発展し、とどまることを知りません。時に寸劇が始まってしまい盛り上がりすぎて上司に注意されることもしばしば・・・。

そんな私達が一番大切にしていること、それはあくまでも「問題を解決するのは患者様やその家族である」ということ。相談に来られた方が自分自身の問題に気づき、課題に気づき、そしてどのように行動するのかを自身で決定できるよう、私達は耳も心も傾けて相談者の声を聴かせていただいております。



サギソウ

とつぜんですが

なぜかけ

“整いました第2段”

好評に
お応えして

テーマ「訪問看護(師)」

1. 訪問看護とかけて『自然界の定め』とときます。
そのころは...どちらも『点滴・天敵』が必要です。
2. 訪問看護師とかけて『偽ブランド』とときます。
そのころは...どちらも『見る目・見る目』が必要です。
3. 能登病院の訪問看護師とかけて『農作業』とときます。
そのころは時には『軽トラック(※1)』が必要です。



※1：当院では公用車不足のため軽トラックに乗り訪問看護に出かけています。もし、見かけることがありましたら温かいまなざしで見守ってください。

地域医療支援センターの今年度のモットーは “つなぐ・つながる・つなげる” です
院内外の皆様と手と手を取りあって繋がっていきたいと思います。
皆様 **仲良く仲良く！** よろしく申し上げます！